

# 第4回 血液がん医療講演会 & 交流会 in北九州

## 報告書



[リボンの会のホームページ・トップ](#) > [リボンの会とは](#) > [活動報告](#)

開催日時: 2016年6月4日(土)

開催場所: ソニー生命保険(株)大研修室  
北九州市小倉北区浅野2-14-2

プログラム: ● 講話「こんなときに血液疾患を疑う」 (北九州市立医療センター副院長  
血液内科 大野 裕樹 先生)  
● 患者・家族交流会

今年で4回目を迎えた「リボンの会in北九州」。  
梅雨入り宣言が出された日の開催になりました。  
開会時は小雨模様でしたが、終わるころには本格的な雨が降っていました。  
そんなお天気の中、30数名の方が集まってくださいました。  
新聞を見てきましたという方、大野先生の患者ですという方など、  
初めて参加する方が多くおられました。

### — 講演 —

『こんな時に血液疾患を疑う』 / 大野 裕樹 先生 (北九州医療センター 副院長)



血液疾患のそれぞれの特徴を挙げながら、スライドで説明していただきました。急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群の特徴的な症状や治療について



話していただきました。

質疑応答は質問用紙に書かれた内容で進められました。悪性リンパ腫のもう少し詳しい説明をお願いしたいという参加者に、大野先生は悪性リンパ腫は実際はどこにでもできる、として実際の症例を話されました。また、慢性骨髄性白血病の治療薬について、「患者が止めたいと希望すれば止められるのか」という質問に対して、「日本でも治験が進められているが、外国では薬を止めたところが4割が再発しているというデータがある」との回答でした。



## —交流会—

机を囲んで、自己紹介から始めました。

「話すことで、人の話を聴くことで、すぐには解決できないかもしれないが、きっと自分の中で整理することができるでしょう。そのような時間を過ごしましょう」との呼びかけに参加者の皆さんが応えてくれました。

それぞれが今の心配なことや気がかりなことを話し、それに対し同じ経験をした人がアドバイスするというような場面もありました。髪の毛の悩み、帯状疱疹のつらさ、主治医との関係について等々先輩患者さんからのアドバイスも色々とお出されました。

看護師のKさんから、「色々な不安を我慢するのは良くない。是非看護師に相談してほしい。医師にもその情報を伝えるようにしている」と話していただきました。

ある慢性骨髄性白血病の男性の方は、13年前に同種移植を選択し、その後仕事につき、結婚し、子どもが二人いる、という話をしてくれました。その時々選択はとても厳しかったようですが、



今は「気の持ちようが一番大事だと思う」との言葉の重みに、参加者が、みな感動しました。最後のほうは、近くの人と色々と話してにぎやかなうちに、時間が来てしまいました。会場に来られた時には緊張感、不安で硬い表情をしていた方が、帰る時には笑顔であいさつされていました。土曜の午後の皆で過ごした時間が、その方の心に<何か>を伝えることができたとしたら、うれしいことです。



## —アンケート—

1. 今まで血液疾患の患者さん達と話をする機会がなかったので一人で悩んでいる事がほとんどでした。こういう会がある事をもっと早く知っておけばだいぶん心が楽だっただろうなと思いました。(40代 女性 患者)
2. 北九州でして欲しい。廣澤先生の患者目線のお話が大変良かったです。大変でしょうが毎回来てほしいです。(50代 女性 患者)
3. 新聞を見て大野先生のお話を聞きたくて参加しました。(50代 女性 患者)
4. 質問にも先生に丁寧にこたえていただき、みなさんの話しも聞けてとてもありがたかった。(60代女性 家族)
5. とても有意義であたたかい雰囲気に参加させていただいて、本当によかったと感謝しています。(60代女性 家族)
6. 完治はしないと云われていますが…復帰は可能でしょうか? (50代 男性 患者)
7. 今後も参加したいと思います。宜しくお願いします。大野先生、宮地さん、スタッフの皆さま大変お疲れ様でした。ありがとうございました。(30代 男性 患者)
8. お話を伺えて、話せて良かったです。大野Drと廣澤Drの掛け合いが絶妙でした。(50代 女性 患者)
9. これからもよろしくお願いします。(60代 患者)



**リボンの会 事務局本部**

公式サイトURL: <http://ribonnokai.info/>

E-mail: <http://ribonnokai.info/mail.html>